

書 評

(株)資源・素材学会 資源経済部門委員会 監修・発行

定価 7,000円

鉱物資源データブック

I 鉱種別統計編 II 国別統計編

評者 若松 貴松*

Takahide Wakamatsu

本書は2巻より構成され、I巻は鉱種別統計編である。金属元素別の統計で41種 (Al, Sb, As, Be, Bi, B, Cd, Cs, Cr, Co, Cu, Ga, Ge, Au, In, Fe, Pb, Li, Mn, Hg, Mo, Ni, Nb, Pt, REE (希土類元素), Re, Rb, Se, Si, Ag, Sr, Ta, Te, Tl, Th, Sn, Ti, W, V, Zn, Zr & Hf) にわたり、その各々につき20年間以上にわたる埋蔵量、生産量、消費量、価格、輸入量、需要予測などの基本的データが収録されている。

又、II巻は国別統計編であり、I巻に収めた統計的データを国別に収録したものである。アフリカが43ヶ国、南・北アメリカが30ヶ国、アジアは40ヶ国、ヨーロッパは31ヶ国、オセアニア7ヶ国にわたっている。

I、II巻を通じ、対象とした元素数及び対象国の数は現在の鉱物資源の利用動向を把握する上で十分に広範囲なものである。

次に、このデータブックの内容は、第I巻では鉱種別に、経済的条件、社会条件、さらには政治的背景を示唆させる興味あるデータを盛り込んでいる。例えばCuの項目について取りあげ、データ内容を列挙すると以下のようなものである。

- Cu-1, 銅鉱石生産量 (銅金属量, 1000トン)
- Cu-1 A, 銅鉱石生産量 (1000トン)
- Cu-2, 鉱石および地金の生産量と生産能力 (1000トン)
- Cu-2 A, 休止中の銅鉱山の生産能力 (1000トン)
- Cu-2 B, 閉山ないし閉山予定の銅鉱山 (1000トン)
- Cu-2 C, 銅生産能力の増強 (1000トン)
- Cu-2 D, 新規開発銅鉱山および拡張予定
- Cu-3, 銅地金生産量 (1000トン)
- Cu-3 A, 粗銅生産量 (1000トン)

- Cu-3 B, 銅地金生産量 (1000トン)
- Cu-3 C, 銅地金消費量 (1000トン)
- Cu-4, 銅在庫量 (1000トン)
- Cu-4 A, 銅鉱山生産量と精錬生産量の収支 (1000トン)
- Cu-5, 銅の価格 (セント/ポンド, ポンド/トン)
- Cu-5, 銅の価格 (セント/キログラム, ポンド/トン)
- Cu-5 A, 銅の価格 (1000円/トン, セント/ポンド, ポンド/トン)
- Cu-5 A, 銅の価格 (1000円/トン, セント/キログラム, ポンド/トン)
- Cu-5 B, 1880年以降の銅の価格 (ポンド/トン)
- Cu-P, 銅の価格 (ドル/ポンド)
- Cu-P, 銅の価格 (セント/キログラム)
- Cu-6, 銅のスクラップ (1000トン)
- Cu-6 A, 銅のスクラップ回収量 (1000トン)
- Cu-7, アメリカの銅備蓄 (1000トン)
- Cu-8, 埋蔵量ベース (1000トン)
- Cu-8 A, 銅の埋蔵量 (10^6 トン)
- Cu-9, 2000年までの銅の需給予側 (1000トン)
- Cu-10, わが国の銅に関するデータ (1000トン)
- Cu-11, 銅鉱石および精鉱の輸入先 (総重量, トン)
- Cu-11A, 銅地金の東西貿易 (1000トン)
- Cu-12, 十大産銅国際大資本による銅生産量 (1000トン)
- Cu-13A, 鉱石あるいは精鉱の輸出量 (1000トン)
- Cu-13B, プリスターの輸出量 (1000トン)
- Cu-14A, 鉱石あるいは精鉱の輸入量 (1000トン)
- Cu-14B, プリスターの輸入量 (1000トン)
- Cu-15, 銅地金の輸出量 (1000トン)
- Cu-16, 銅地金の輸入量 (1000トン)

*名城大学都市情報学部教授

〒509-02 岐阜県可児市虹ヶ丘4-3-3

以上の内容のデータが国及び年度別に盛られている。特に掲載されているデータは米国及びヨーロッパで集

計されたものが基本になっているが、同種の内容のデータは並列して示され、出典を明記し、収録されている。これはデータブックとして正しい姿である。

第Ⅱ巻では、国別統計編として、国ごとにその国において生産、消費される金属元素に関する諸統計を年代を追って集計したもので1243頁から成る資料である。特に諸統計は世界合計と対比し得るように表示されており、各国の世界における資源的立場・役割が理解し得るよう配慮されている。

Cuの例で示したように本書に集録されたデータは広範囲であり、豊富な内容に富むものである。特に「需給予測」さらに「スクラップ量やりサイクル量」又元素によっては「原料、製品、回収フロー」を集録している。この内容は今後環境を考えた資源循環型社会を目指す資料として極めて有用である。資源問題に携わる方は勿論の事、環境問題に興味を持たれる方にも有用な情報源・参考資料として本書を推薦する。

他団体ニュース

「第15回新エネルギー産業シンポジウム」について

〔日 時〕平成7年12月13日(水)～14日(木)

〔会 場〕国際連合大学国際会議場
(渋谷区神宮前5-53-70)

〔テーマ〕「きれいな地球、きれいなエネルギー」

〔内 容〕

*第1部 導入促進セッション (有料 30,000円)

- ・12月13日(水)9:20～17:25
- ・21世紀を見据えたライフスタイルのビジョン
(太陽エネルギー経済研究所会長 T.キャッシュマン)
- ・規制緩和と新エネルギー事業拡大への課題
(一橋大学商学部教授 栗原史郎)
- ・新エネルギー導入大綱への期待
(クリーンエネルギー自動車の導入戦略)
(早稲田大学教授 大聖泰弘)
- ・アジア諸国への新エネルギー導入戦略
(インサイツインアクション社長 D.マクグラフリン)
- ・新社会システムへのアプローチ
(ゼロエミッションプロジェクト)

(国際連合大学長顧問 G.パウリ)

- ・12月14日(木)9:30～12:05
- ・持続可能なエネルギー開発のビジョン
(デンマークに於ける新エネ導入ビジョン)
(政府新エネルギー諮問委員会委員長 N.メイヤー)
- ・市民が支える買電値上げ(アーヘンモデル)
(アーヘン市市長室 ノイグレッシェル)

*第2部 社会セッション

- ・12月14日(木)13:15～17:30
- ・サブテーマ
みんなで支えよう身近な新エネルギー
問題提起 洗練されたりサイクル社会
SF作家 石川英輔
- ・パネル討論会

■お問い合わせ先

財新エネルギー財団 シンポジウム事務局

小澤太一

〒102 東京都千代田区紀尾井町3-6

TEL 03-5275-9822, FAX 03-5275-9831